

佐久総合病院（仮称）基幹医療センター 建設概要

平成23年4月

佐久総合病院 (仮称) 基幹医療センターの概要

1. 新病院概要

- 1) 開院目標年度 平成25年度
- 2) 病床数 450床
救命救急病棟20床、集中治療室等ハイケア病床42床、
その他一般病床(周産期母子含む) 388床
- 3) 敷地面積 約130,000㎡
- 4) 建物規模 病床数450床
建物面積 46,300㎡(診療棟 26,150㎡、病棟 20,150㎡)
- 5) 外構 駐車場(立体駐車場約300台、平面駐車場約700台)
- 6) 事業費 225億円
内、建物建設費 約130億円
医療機器等施設整備費 約60億円
その他付帯施設整備費等 約35億円
- 7) 重点的に整備する4つの医療機能
救命救急センター機能
脳卒中・循環器病センター機能
がん診療センター機能
周産期母子医療センター機能

2. 建築コンセプト

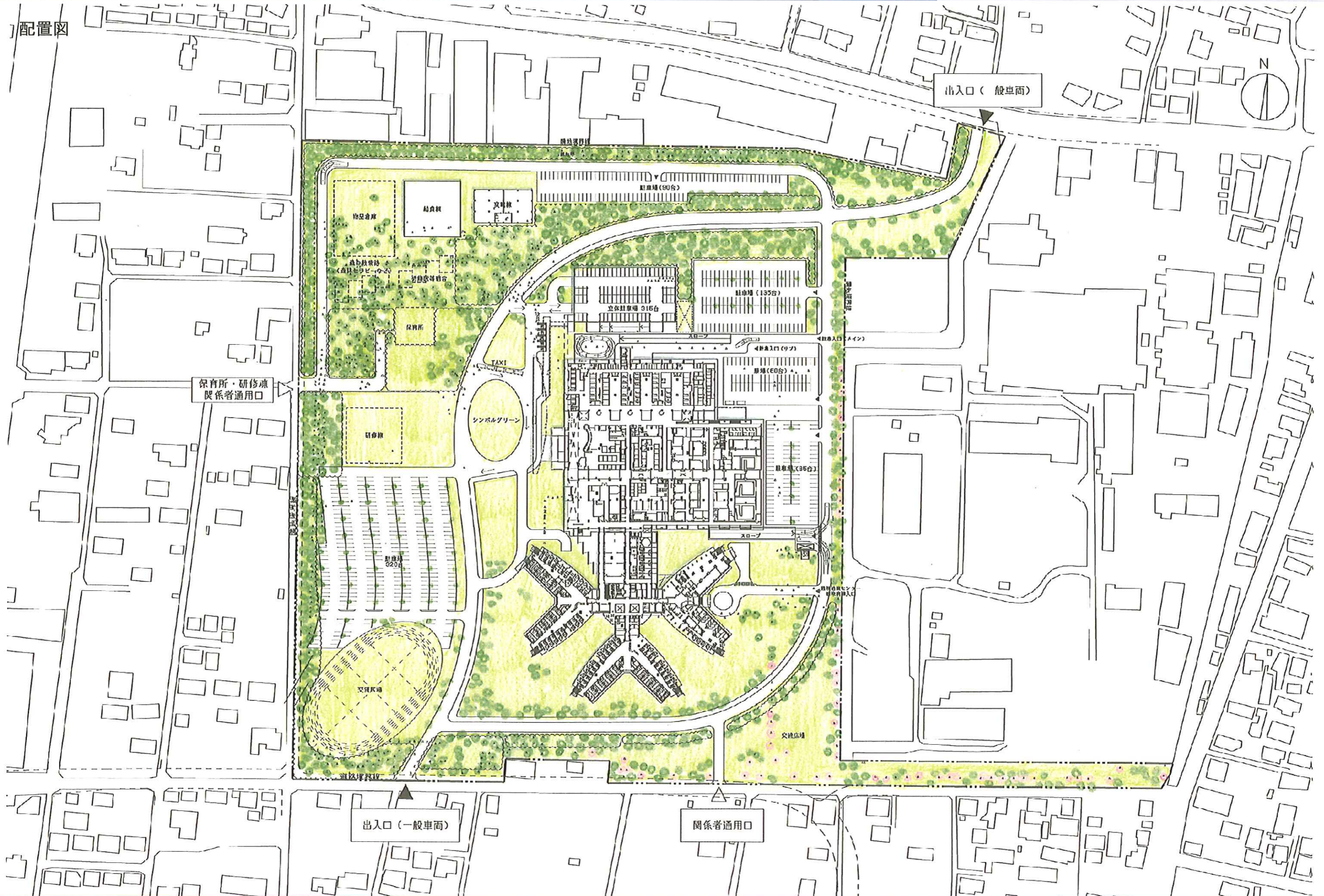
- 1) 急性期病院にふさわしい明快な機能構成
 - ・ 水平での機能連携を重視した階構成・部門配置とする。
 - ・ 2階を超急性期フロアと位置付け、救急、手術、集中治療、周産期・周術期病棟を集約する。
 - 2) 広大で緑豊かな敷地の特性を活かした療養環境
 - ・ 接地性の高い病棟とし、1階がん病棟からは外の庭を直接感じられる計画とする。
 - ・ 低層の建物とし、長野県らしい、森の中に佇む雰囲気のある病院とする。
 - 3) 医療の進歩や医療需要の変化に対応する成長する病院
 - ・ 今後医療環境が変化した時に対応できる建築システムとする。
 - ・ 適切な階高の確保と分散設備シャフト(※)により、改修しやすい建物とする。
 - 4) スタッフが誇れる働きがいのある病院
 - ・ 緊張感のある業務からリフレッシュできる気持ちのよいスペースを各所に配置する。
 - ・ 臨床教育・研修スペースの充実を図るとともに、地域に開かれた交流スペースを設ける。
 - 5) 佐久地方の気候に根ざしたエコホスピタル
 - ・ 全国有数の日照率を活かし、自然光に満ちた、明るい病院とする。
 - ・ 冬寒く夏は涼しい気候特性に馴染む、自然エネルギーを活用した設備計画とする。
 - 6) 様々なリスクへの備えを徹底した、安心・安全な病院
 - ・ 根拠に基づいた適正な安全対策を施す。
 - ・ 災害時の機能維持とともに、水平避難を基本にした患者さんの安全確保を図る。
- (※)「設備シャフト」とは建物の各階を通じ、上下水道・電気・ガスなどの設備用の縦管を収納するスペースのこと。

建設事業費

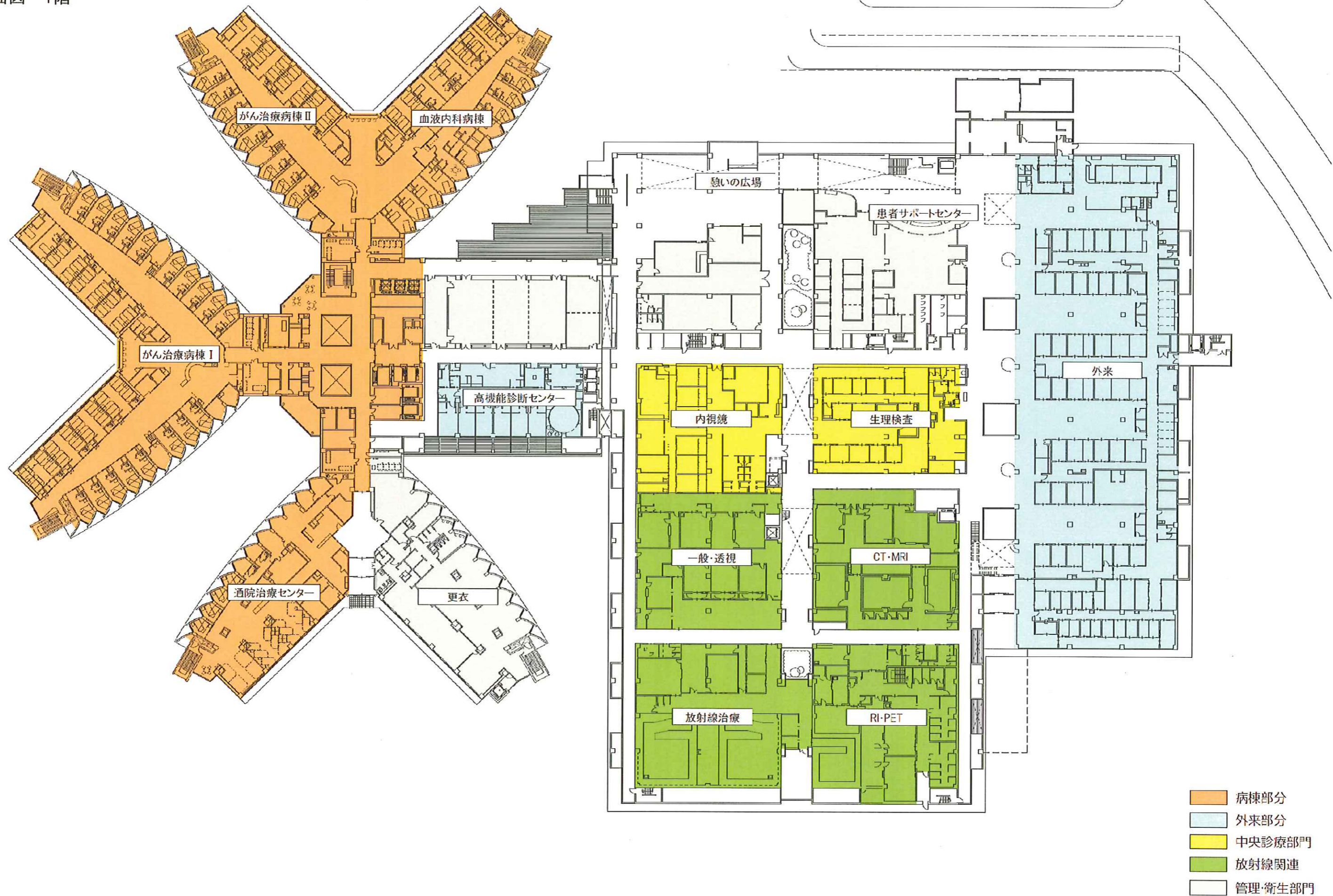
(単位:百万円:税込)

区 分		金 額	備 考
事 業 費	建物建設費	13,000	建物面積 46,300㎡(SRC造)
	医療機器整備費	6,000	PET・CT、MRI他
	外構・駐車場・付帯施設他	3,200	立体駐車場 約300台、平面駐車場 約700台
	無形固定資産	300	電子カルテシステム
	合 計	22,500	
	(用地取得費)	(2,460)	
財 源	自己資金	14,500	
	その他資金	8,000	
	合 計	22,500	
	(内部資金)	(2,460)	(用地取得分)

配置図



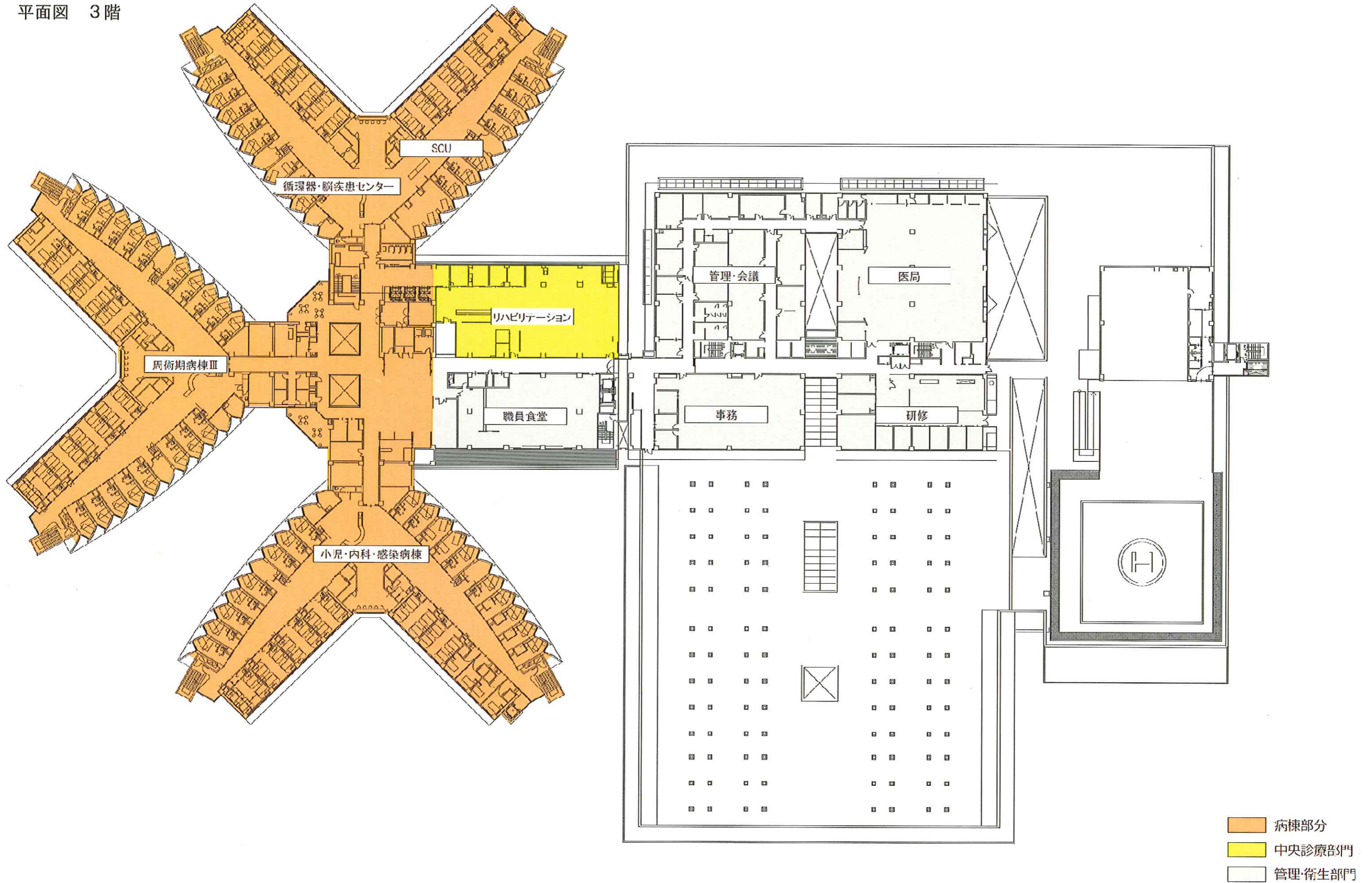
平面図 1階



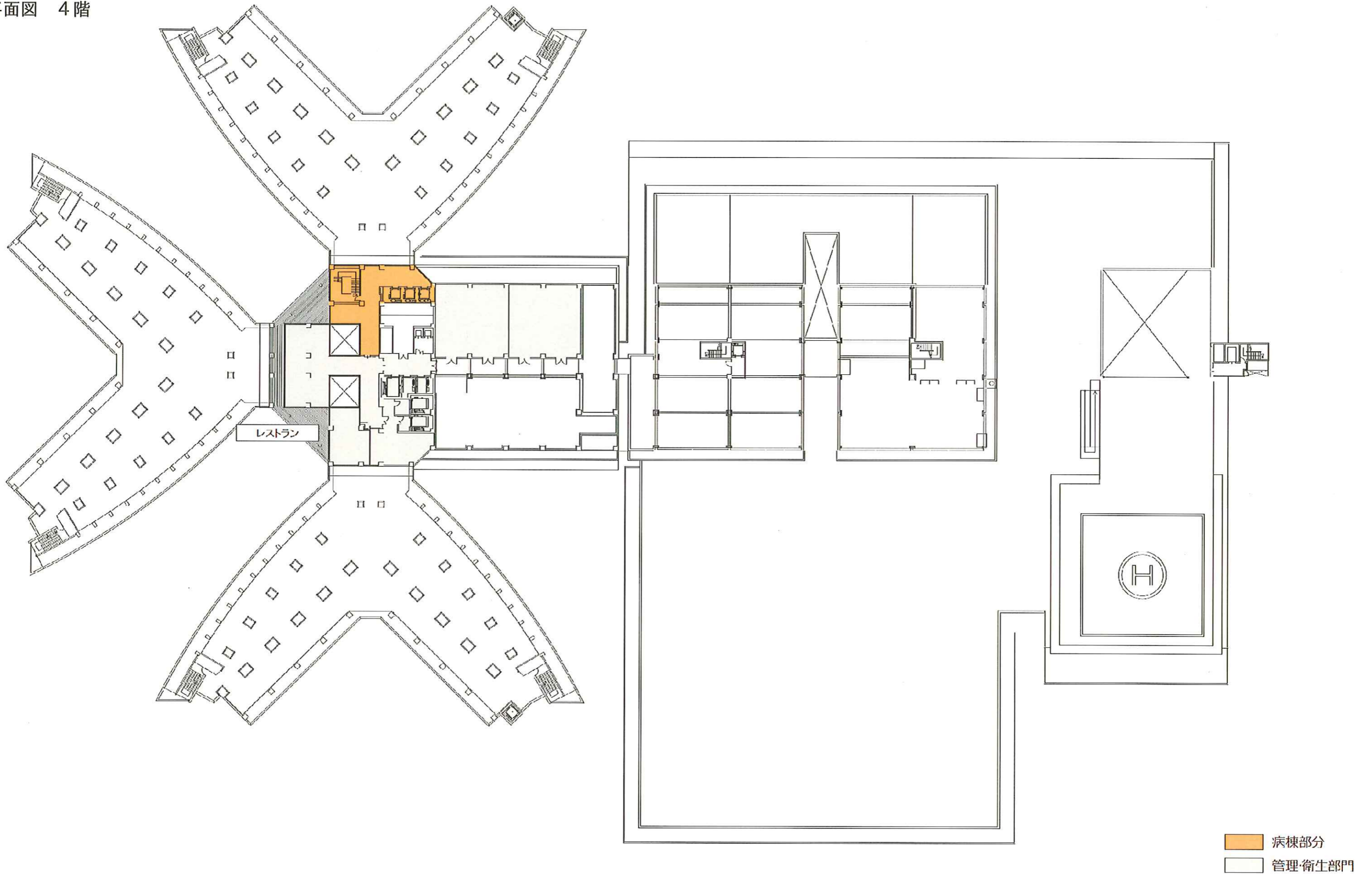
平面図 2階



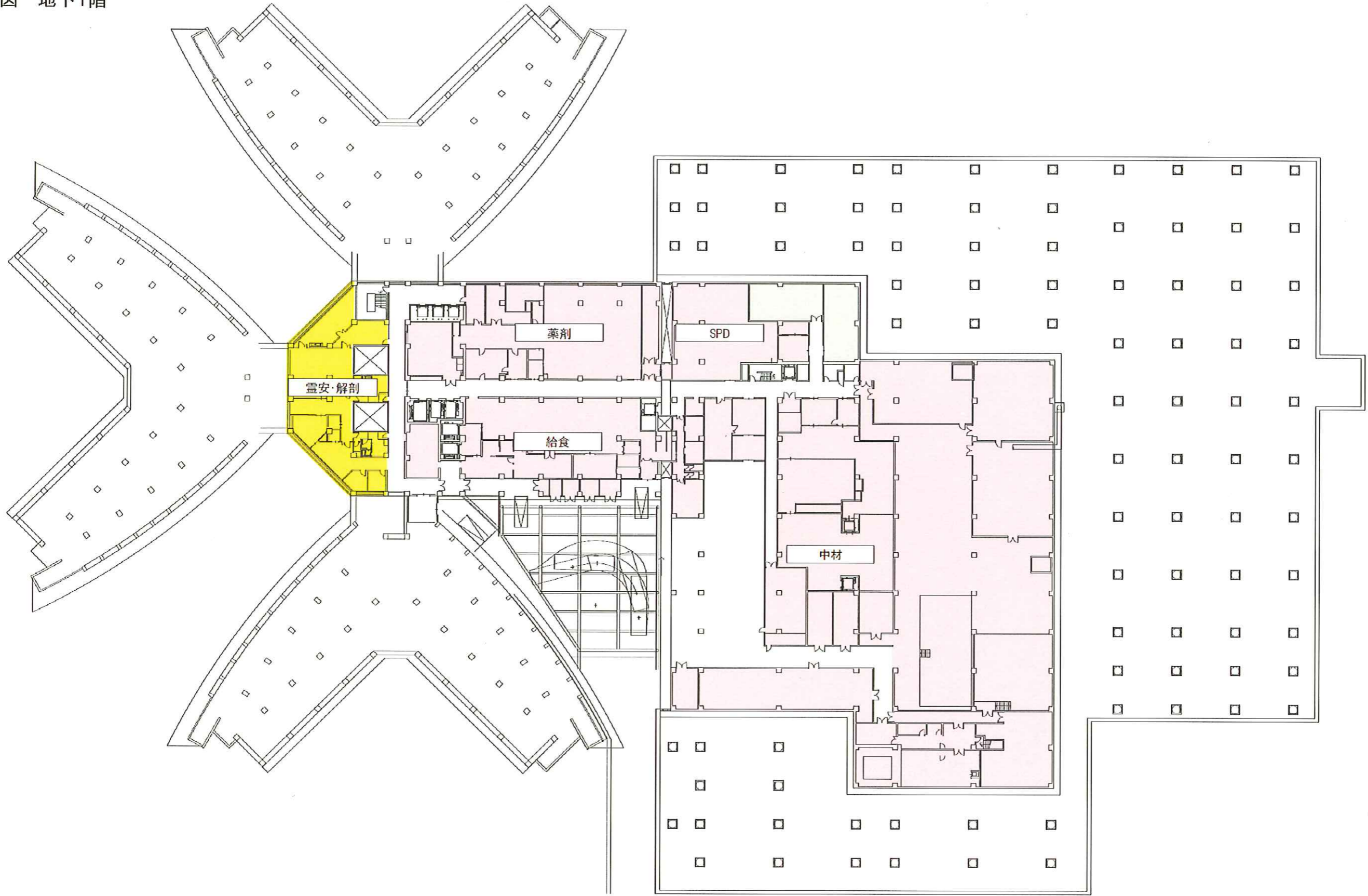
平面図 3階



平面図 4階

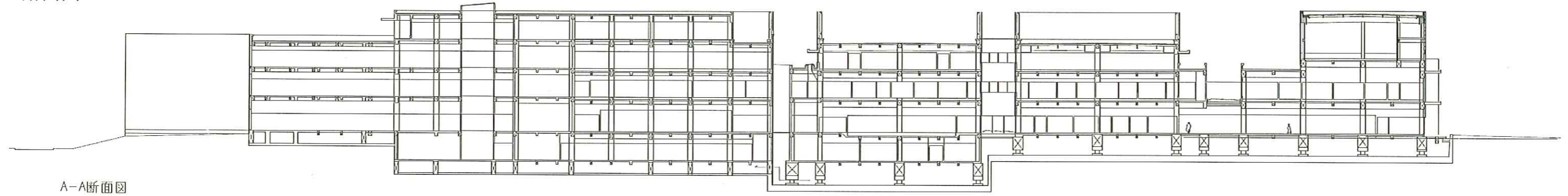


平面図 地下1階

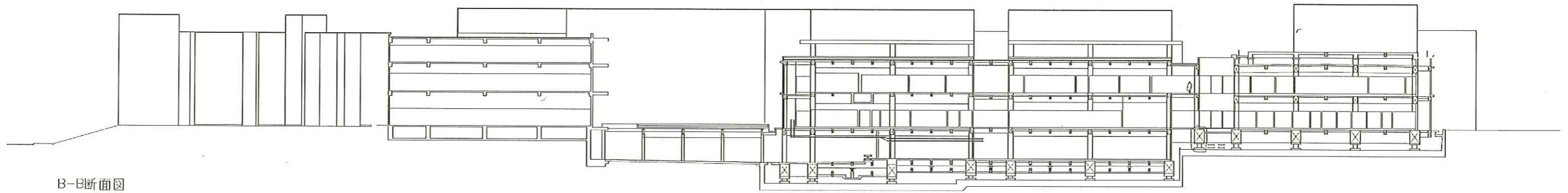


- 中央診療部門
- 供給部門
- 管理・衛生部門

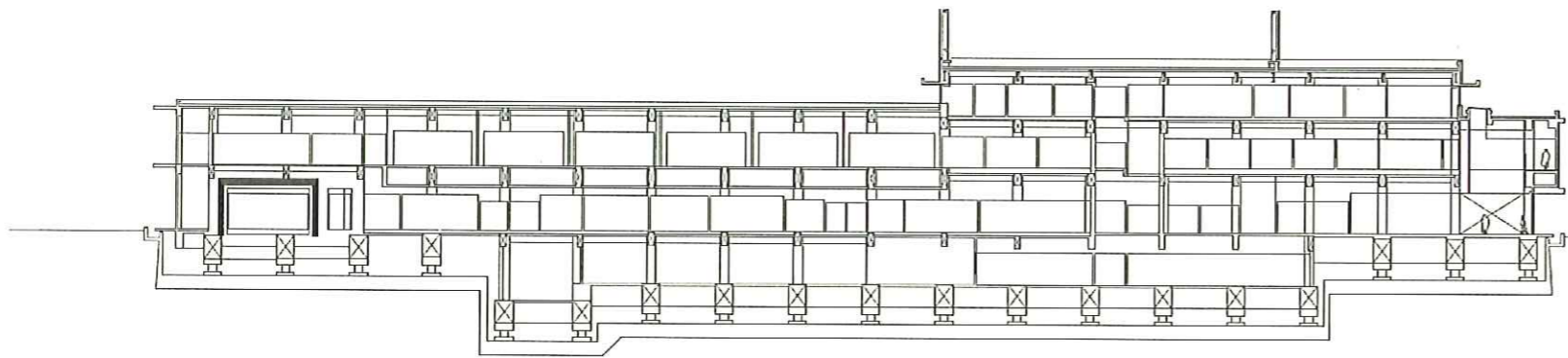
断面図



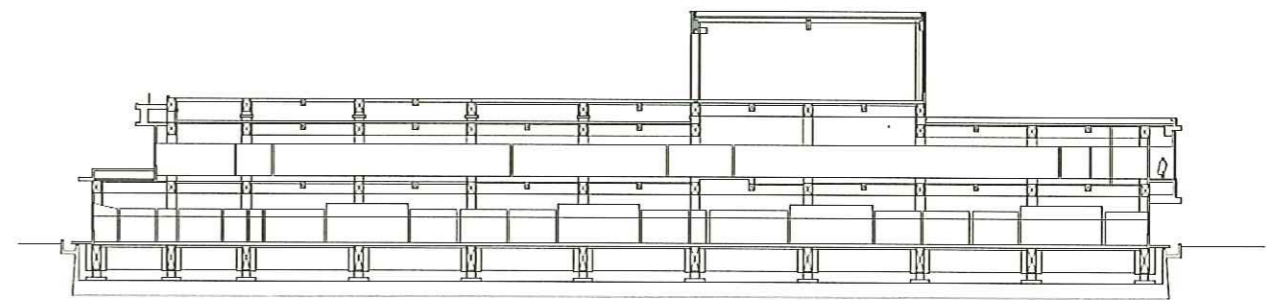
A-A断面図



B-B断面図



C-C断面図



D-D断面図

